

登録コード	HM110100	開講年度	2026					
授業題目	呼吸器・感染症・アレルギー内科診断学特論					担当教員	花岡 正幸 他	
英文授業名	Diagnosis of Respiratory, Infectious, and Allergic Diseases					副担当	牛木 淳人・北口 良晃・和田 洋典・小松 雅宙	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	呼吸器・感染症・アレルギー内科学に関する適切な診断ができるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	呼吸器・感染症・アレルギー内科学の研究を遂行するためには、疾患の発症機序および病態生理の理解が不可欠である。本講義では対象疾患の診断学を学び、基礎知識の習得と、研究への応用・発展を目指す。							
(3)授業の概要/Overview of course	呼吸器病学、感染症学（特に呼吸器感染症学）、アレルギー内科学における診断学の意義を理解させる。							
(4)授業計画/Course plan	【オムニバス方式】 （花岡正幸 教授/3回） 喘息、COPD、睡眠呼吸障害の標準的な診断方法を学ばせる。特に、呼吸機能の評価方法、COPDでは高分解能CT（HRCT）による中枢側気管支の壁肥厚および末梢気道の気道病変の評価法について学ばせ実施させる。また、これらの疾患に対する新たな診断方法についても検討する。 さらに、各種肺疾患における肺高血圧症の病態解明のために右心カテーテル検査を施行し、これらの結果と呼吸機能検査、各種生化学検査などとの関連性について検討する。 （牛木淳人 准教授/3回） 各種細菌感染症、結核などの抗酸菌感染症、HIV感染症、日和見感染症の標準的な診断方法を学ばせるとともに、新規診断方法についても検討する。特に感染症診断の基本となる微生物の塗抹・鏡検、培養検査について学ばせ実施させる。 （北口良晃 准教授/3回） 喘息・COPD等の閉塞性肺疾患およびその類縁疾患（喘息・COPDオーバーラップ、気腫合併肺線維症）の診断に必要な知識、診断方法を教育する。特に呼吸機能検査（オシレーション法による呼吸インピーダンスの測定、気道可逆性試験、気道過敏性試験を含む）、胸部CTの基本的知識・診断法について学ばせる。 （和田洋典 講師/3回） 肺疾患に伴う肺高血圧症の診断に関する基本的な手順を学ばせる。さらに、右心カテーテル検査・精密検査呼吸機能検査の解釈の仕方についても学ばせる。 （小松雅宙 助教/3回） 間質性肺疾患の診断に必要な方法、特に呼吸機能検査、HRCT画像および気管支鏡検査による診断を学ばせる。さらに、最新の診断方法についても教育する。							
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	すべての講義終了後には、授業内容に関連したレポートを課す。(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	本講義は呼吸器・感染症・アレルギー内科学における診断学を満遍なく学ぼう計画されており、授業内容にも関連性がある。毎回の授業の最後に、次の回につながる課題を出す。その課題はそれまでの授業内容を使えば答えを出せるようになっている。必ず答えを作成して提出すること。それは授業後に回収する。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	講義中あるいは講義終了直後の質問は随時受け付ける。それ以外の場合は、各教員と直接連絡を取り、質問・相談時間を設定すること。							
(8)授業の形式/Course format	スライドや配布資料を用いる。授業内容に関連性があるので、講義終了後は知識の習得のため、十分に復習すること。							